

創業70周年、次のステージへ



アクアシステム
木村 匡伸社長

い。社長がすべてを確認するようでは、ボトムアップとは言えない。管理職には管理職としての評価、若手には行動を重視した評価など役割に応じた基準を設け、人材の育成に投資していく。

「ATNB1・20D」改良型など、新製品も展開する。今後の開発などは、次世代を見据え、機器を制御するシステム開発を強化する。例えば、液体の残量を遠隔で把握し、必要に応じて給油する管理システムなど、商品売のだけでなく、顧客の業務を効率化する提案を進めたい。JIMT OFでは液面計などを駆使し、リアルタイムで容器内の残量をチェックする液体管理システムを披露する。直近、ホルムズ海峡問題でエンジンオイルや切削油の不足が起こり、液体管理に対するニーズも高まっている。

創業70周年を迎えて、

昨年度を振り返って。目標の売上高10億円超えを達成する売上高11・3億円を達成できた。今後の更なる成長に向けた課題も明確になっており、長期的な視点に立つ組織体制の構築が必要。従来のトップダウン型からボトムアップ型への転換も道半ばで、各自が役割に応じた能力を

身につけ、自律的に動く組織づくりを進めた

い。

今期の取り組みは。より高い売上を目指すために、各部署に必要な数字を担当者自身が把握し、部門の状況を正確に認識できる体制にした

た。工場扇用の「水道直結型クールミスター」や、寒冷地の声を反映した乾電池式ガンノズル

液体管理システムを披露する。直近、ホルムズ海峡問題でエンジンオイルや切削油の不足が起こり、液体管理に対するニーズも高まっている。

組織改革で更なる成長を

創業70周年を迎えて、ベトナム・ダナンへの社員旅行を実施し、日本と海外のスタッフが直接交流する機会を設けた。これまで顔を合わせる機会が少なかった社員同士が実際に交流すること

で、絆も深まり、グループ一丸で成長していき

ます。まずは今期、前年比6%増の売上高12億円

の達成を目指す。